



授業で取り上げられるSDGsの課題

外国語教育センター 特任講師 シュルツ・ローランド

「国際文化情報（ドイツ語圏）」の授業では、SDGsの目標と深く関わる取り組みを行っている。たとえば、ドイツのジェンダー平等（目標5）や再生可能エネルギー政策（目標7）について学び、日本の状況と比較することで、自国の課題にも目を向けることができる。また、シリアやアフガニスタンからの難民を社会にどう受け入れるかといった移民問題や、社会福祉制度を扱う中で、不平等の解消（目標10）や平和と公正（目標16）についても考察を深めている。

さらに、近年のドイツ社会の重要な課題として、右派政党である「ドイツのための選択肢」（AfD）の台頭と、それに伴う移民政策や民主主義の在り方をめぐる議論についても取り上げている。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻の影響により、安全保障への関心が高まる中、ドイツで兵役義務の復活が議論されている現状についても学び、平和と安全の問題を多角的に考える契機としている。

授業では、映像資料やドイツ語の記事を活用しながらドイツ現代社会の諸課題に触れ、異文化理解を深めると同時に、国際的な視点からSDGsへの関心と意識を育てている。自らの意見を持ち、議論する姿勢を養うことは、「質の高い教育をみんなに」（目標4）を体現する学びでもある。この授業は、SDGsを自分事として捉えるきっかけとなる。」